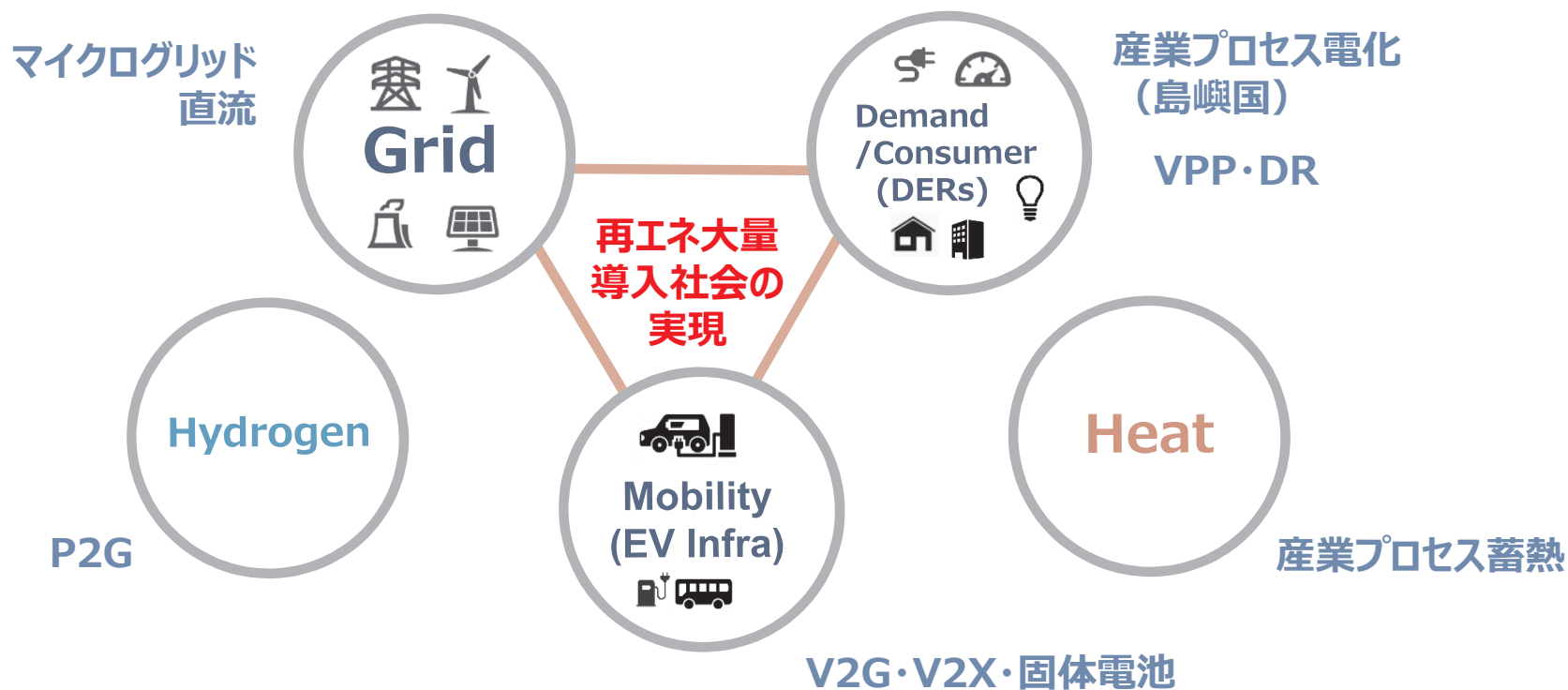


- 世界的に、再生可能エネルギーの導入拡大及びそれに伴い顕在化する課題解決の手段として、水素や熱、さらには電動モビリティ等を利活用して、高い目標を設定しつつ、低炭素社会を実現しようとする動きが進む。
- 日本企業の競争力維持・強化には、**優れた技術を組み合わせたシステムの成立性・有効性を実証を通じて確認し、早期の社会実装**を目指す必要がある。



- 既に世界的にニーズが顕在化した分野を対象に、展開する国や地域を想定したうえで、**技術を組み合わせたシステムの検討**と**真にニーズと合致した挑戦的な実証研究となり得る可能性**を見通す。

★ポイント★

- 複数の技術の組み合わせ、システムとしての成立性の検討を重視するため、原則、提案するシステムの**構成技術を既に保有、あるいは研究している企業等を含む複数者による共同提案・検討**とする。
- 調査においては、**外部有識者を交えた検討**を行うものとする。

■ 調査期間

- NEDOが指定する日から2021年3月31日まで

■ 予算額

- 1件あたり、1,200万円以内

■ 対象分野

- 既に世界的ニーズが顕在化している以下11の対象分野のうち1つを選択すること。

- (1) 製造・産業プロセスの電化（オール電化作業所等）
- (2) 熱利用の高度化（面的利用を含む）
- (3) e-モビリティ
- (4) V2X（電力系統への影響緩和に関するものを含む）
- (5) 直流機器・設備を活用した面的な電力供給・利用
- (6) 再エネ100%に必要な制御技術
- (7) レジリエンス向上に資するシステム
- (8) 送配電網の保守・運用高度化
- (9) VPP、DR（家庭・業務分野の新たな制御対象リソースの検討に関するものを含む）
- (10) P2G（ガスは水素に限らず、水素は発生部分に限らない）
- (11) スマートシティ

【参考】NEDOスマートコミュニティ部が扱う技術等分野



- 多様なエネルギー源を統合して管理・活用するため、世界的には「**セクターカップリング**」としてエネルギーの**総合的な利用**に向けた取り組みが進んでいる。

